



教育目標 あたかな心をもつ すすんで学ぶ さいごまでやりぬく つよいからだをつくる

平成30年度 第2回学校評価

校長 中村 直人

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。このたび、本校の教育活動及び学校運営に関する評価をまとめましたので、ご報告いたします。

調査の概要

- 1 調査実施期間 平成30年11月2日～11月10日
 2 対象・回収数 教職員32名 保護者361名 児童429名
 3 回答方法 保護者：【A:とてもあてはまる・B:だいたいあてはまる・C:あまりあてはまらない・D:あてはまらない・E:分からない】の5観点で評価した。
 児童と教職員：【A:とてもあてはまる・B:だいたいあてはまる・C:あまりあてはまらない・D:あてはまらない】の4観点で評価した。

I 評価の結果 【数値…%】

1 (児童) 楽しく生活している。

(保護者・教職員) 学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている。

	A	B	C	D	E
児童	62.9	30.8	4.9	1.4	0
保護者	50.2	45.4	0	0	4.4
教職員	50.0	46.9	3.1	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数42)

●改善を要するところ(意見数1)

○校長先生をはじめ教職員が熱心に親身になって指導している。(19)

○元気で楽しく登校している(12)

○教職員が明るくコミュニケーションがとりやすい。(4)

○行事に対してして一生懸命に取り組む。(3)

●子供と先生の交流の時間を増やしてほしい。

2 (児童) 学習内容が分かっている。

(教職員・保護者) 学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	54.1	32.2	10.0	3.7	0
保護者	42.9	51.6	2.5	0	3.0
教職員	46.9	53.1	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数9)

●改善を要するところ(意見数3)

○学力定着に努めている。(7)

○ノート指導に力を入れている。

○授業が分かりやすい。

●宿題の時間を増やしてほしい。(2)

●学習チャレンジ週間や学びのステーションの意義が感じられない。

3 (児童) 自分から進んで学習することができる。

(教職員・保護者) 学校は、学力の定着を図るための取組(モジュール学習、算数少数指導、ノート指導、読書活動、補習等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	49.2	37.1	11.4	2.3	0
保護者	46.3	51.0	1.9	0	0.8
教職員	40.6	59.4	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数17)

●改善を要するところ(意見数4)

○低学年からの算数少数やモジュール学習を行っていて学ぶ姿勢が身に付いてきた。(8)

○個に応じた指導をしている。(5)

○読書活動が充実している。(2)

○シラバスを示している。

●宿題に時間がかかる。(2)

●学年内で学習の進度を合わせる。

4 (児童①)昨年度より、あいさつができるようになった。

(児童②)昨年度より、学校のきまりを守ることができるようになった。

(教職員・保護者)学校は、あいさつや学校のきまりを守ること等、集団生活を送る上で基本的な生活習慣が身に付くように指導している。

	A	B	C	D	E
児童①	60.4	30.5	7.5	1.6	0
児童②	48.9	42.9	6.3	1.9	0
保護者	47.4	47.4	3.0	0	2.2
教職員	25.0	68.7	6.3	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数9)
 ●改善を要するところ(意見数5)
 ○校長先生はじめ先生方が率先して挨拶をしている。(4)
 ○子供たちの挨拶習慣が身に付いている。(2)
 ○いじめについての指導が徹底している。
 ●子供たちの挨拶かできていない。(2)
 ●学校からの帰宅時刻が遅いときがある。

5 (児童)兄弟学年交流活動で、他の学年となかよくなれた。

(教職員・保護者)学校は、兄弟学年交流活動など、児童の豊かな関係作りに努めている。

	A	B	C	D	E
児童	69.9	25.6	2.6	1.9	0
保護者	61.2	36.0	1.1	0.3	1.4
教職員	46.9	53.1	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数63)
 ●改善を要するところ(意見数0)
 ○兄弟学年交流がよい。(52)
 ○かしわ学級との交流と連携を図っている。(9)
 ○学校全体が仲良く、学年関係なく子供たちが仲良く活動している。(2)

6 (児童)学校で困ったことがあるとき、先生や相談室の先生に相談することができる。

(教職員・保護者)学校は、子供についての連絡、相談に適切な対応している。

	A	B	C	D	E
児童	38.7	35.2	15.9	10.2	0
保護者	43.5	48.9	4.2	0.6	2.8
教職員	59.4	40.6	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数27)
 ●改善を要するところ(意見数5)
 ○子供のことをいつも考えて行動している。(20)
 ○問題が起きた時に迅速に対応している。(2)
 ○相談体制が整っている。(2)
 ○ボプラ担任との連携が図れている。
 ●みんな仲よしアンケートの内容を改善してほしい。

7 (児童)体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている。

(教職員・保護者)学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で元気に遊んだり、すすんで運動したりする子供の育成に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	64.1	24.0	9.3	2.6	0
保護者	46.0	49.5	2.8	0.3	1.4
教職員	68.8	28.1	3.1	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数7)
 ●改善を要するところ(意見数3)
 ○体を動かす場や機会を積極的に考え提供している。(4)
 ○休み時間に外遊びを勧める、先生方も一緒に遊んでくださるところがよいと思う。(2)
 ●運動に親しむ機会を増やし体力の向上をめざしてほしい。(3)

8 (児童)避難訓練に真剣に参加している。

(教職員・保護者)学校は、緊急時に備えて、安全指導(避難訓練、毎月の安全指導等)、校舎内外の安全管理に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	71.6	23.3	4.2	0.9	0
保護者	54.3	44.6	0	0.3	0.8
教職員	46.9	53.1	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数2)
 ●改善を要するところ(意見数2)
 ○安全安心な学校生活日々送れている。
 ○防犯や災害時の対応がしっかりと示されている。
 ●集団登校・下校にしてほしい。(2)

9 (児童)掃除の時間は、掃除をしっかりしている。
(教職員・保護者)学校は校舎内の清掃、整理整頓に努めている。

	A	B	C	D	E
児童	64.5	27.3	7.0	1.2	0
保護者	53.7	43.8	0.8	0	1.7
教職員	43.8	53.1	3.1	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数2)
●改善を要するところ(意見数0)
○校舎内がとてもきれいで学校全体で気を付けていることが分かる。
○掃除が行き届いている。

10 学校は、学校だより、学年だより、学級だより、ホームページ、保健だより、給食だより、保護者会等で学校の活動や取組を伝えている(教職員・保護者のみ)。

	A	B	C	D	E
保護者	63.2	35.7	0.8	0	0.3
教職員	68.7	31.3	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数5)
●改善を要するところ(意見数1)
○学校、学級の様子がお便りで詳しく分かる。(4)
○ホームページに子供たちの様子がアップされていて分かりやすい。
●月の予定は、前月末までに知らせてほしい。

11 学校は、学校公開、講演会(セーフティ教室、食育講座、道徳授業地区公開講座)等を通し、育てたい子供の姿を保護者や地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている(教職員・保護者のみ)。

	A	B	C	D	E
保護者	57.3	40.2	0.6	0.3	1.7
教職員	53.1	46.9	0	0	0

ご意見 ○よいところ(意見数21)
●改善を要するところ(意見数9)
○教職員の地域の活動への関わりが積極的である。(11)
○ゲストティチャーを呼んで効果的な学習をしているところがよい。(7)
●学校公開を減らしてほしい。(3)
●講演会などの活動後の子供の変化が知りたい。

【かしわ学級】 かしわ学級についてのご意見のみを載せました。学校全体のご意見は各項目に反映しています。

○よいところ(13)	●改善を要するところ(10)
○先生方との距離が近いので情報が共有しやすい。 ○校長先生はじめ普通学級の先生方も子供たちに深く関わってくださっている。 ○子供のことをよく見てくれていて学校生活が楽しい。 ○いろいろな体験をさせてもらっている。 ○子供たちにあった教材を工夫していただける。	●普通学級との授業体験ができる日を設けてほしいです。 ●兄弟学年交流などを通して普通学級との関わりがあるとうれしいです。 ●一部教員の言葉遣いが悪い。

II 結果の検討

1 児童の結果から

○10項目中5項目において、【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】という回答の値が90%を超える結果となりました。

○【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】の値が一番高かったのは、設問5「兄弟学年交流活動で、他の学年と仲良くなれた」で95.5%でした。兄弟学年交流やかしわ学級との交流など様々な人との豊かな関係づくりが子供たちに大きな成果として現れています。

○学習面に関しては、設問2「学習内容が分かっている」、設問3「自分から進んで学習することができる」の肯定的な回答の値が86.3%でした。教職員は、日々教材研究に努め子供たちに「分かる喜び」「できる喜び」「表現する喜び」が味わえる授業に努めています。今後も確かな学力の定着を目指します。

○体力に関しては、設問7「体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている」の肯定的な回答の値が88.1%となりました。昨年度より校内研究を体育とし、「どの子も運動する楽しさや喜びを味わえる体育学習」の主題のもと取り組んでいます。今後もさらに子供一人一人の健康保持増進・体力向上の取組に努めてまいります。

2 保護者の結果から

- 今年度の回答率は84.1%で昨年度の82.0%から2.1%増え、より多くの方に回答をいただきました。
- 全項目において、【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】という回答の値が90%を超える結果となりました。また、全項目において、今年度の学校評価の【Aとてもあてはまる・Bだいたいあてはまる】の値が昨年度を上回りました。
- 【A とてもあてはまる・B だいたいあてはまる】の値が一番増加したのは、設問4「学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で元気に遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている」です。昨年度よりも4.5%増加しました。次いで、設問3「学校は、学力の定着を図るための取組(モジュール学習、算数少人数指導、ノート指導、読書活動、補習等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている」です。昨年度よりも、3.2%増加しました。他にも、設問1「学校は、教職員が協力して教育活動にあたっている」、設問5「児童の豊かな関係づくり」や設問8「安全指導、安全管理」、設問9「環境美化」、設問10「情報の伝達」、設問11「保護者、地域との連携」の【Aとてもあてはまる・Bだいたいあてはまる】の値が95%以上となりました。

Ⅲ ご家庭でのお子さんの様子

A とてもはい B はい C あまり D いいえ E わからない

	A	B	C	D	E
設問①	54.6	40.7	4.0	0.5	0.2
設問②	38.2	51.9	9.1	0.8	0
設問③	41.0	43.3	12.7	1.9	1.1
設問④	49.7	46.3	3.0	0.5	0.5
設問⑤	31.9	52.5	13.9	1.7	0
設問⑥	36.6	38.8	18.8	5.0	0.8
設問⑦	30.7	55.7	11.1	2.5	0

設問①
お子さんは楽しく学校に通っていますか。
設問②
お子さんは十分な睡眠がとれていますか。
設問③
お子さんは家庭であいさつをしていますか。
設問④
お子さんは、友達となかよく過ごしていますか。
設問⑤
お子さんは家庭で学習する習慣がついていますか。
設問⑥
お子さんは、運動したり体を動かしたりしていますか。
設問⑦
お子さんは、家庭で学校の出来事について話しますか。

上記の結果から

- 【A とてもはい・B はい】の値が昨年度より増加した設問は、1、2、4、5、7でした。特に設問7「お子さんは、家庭で学校の出来事について話しますか」は5.4%増加しました。学校での出来事などを子供から話したり保護者の皆様から聞いたりすることは子供と信頼関係を築く上でとても大切なことです。ぜひ今後も積極的に取り組んでいただきたいと思えます。
- 【C あまり・D いいえ】の値が昨年度より増加した設問は、3、6でした。特に設問3「お子さんは家庭であいさつをしていますか」は【Cあまり・Dいいえ】の値が7.7%も増加しました。本校では、年間通して、「3つのあ(あいさつ あつまり あとしまつ)と返事」の指導を繰り返し行っています。特にあいさつは代表委員会があいさつ運動を推進したり、保健部より元気アップカードを配布して進んであいさつすることを促していたりしています。しかし、個人差があり、全体として「自らあいさつをすること」が定着しているとは言えません。ご家庭においてもコミュニケーションの第一歩であるあいさつが自然にできるようにご協力お願いいたします。

IV ご意見・ご要望に対する回答 ※紙面の都合で全てのご意見を載せることができません。申し訳ありません。

◎来月の予定が前日にならないと分からない月があるのでもうすこし早く分かるとありがたいです。

→来月の予定をできる限り早くお伝えするために平成31年1月の学年便りより翌月の一週間分を予定表に入れ下校時刻や行事などをお知らせすることにいたしました。どうぞよろしく申し上げます。

◎学芸会や展覧会も好きですが、音楽会みたいなものがあるといいと思います。

→秋の行事は、展覧会と学芸会を隔年で行っています。音楽会を秋の行事に加えていない理由は、日常的に音楽に触れる機会を設けているからです。主な取組として2つあります。1つは、音楽朝会に向けての取組です。毎月の歌を決めて、音楽の授業を中心に合唱や合奏に取り組んでいます。音楽朝会では、各学年が練習してきたパートが合わさってとても調和のとれた合唱や合奏になります。子供たちは音楽の楽しさを味わう機会となっています。2つは、合唱団を設立しています。合唱団は、4年生以上の児童から募り、30～40名の児童が所属し日々練習しています。練習の成果を全校児童の前で披露したり貫井町会の敬老会や練馬区の音楽祭に参加したりしています。

上記のような日常的に音楽に接する機会を今後も設け、歌や合奏を楽しんで取り組める指導を目指します。

◎写真販売をインターネットでできるようにしてほしいです。

→写真販売について複数のご意見をいただきました。本校がお願いしている業者は、入学式や卒業式、学芸会などの行事、遠足や社会科見学、移動教室などで撮影しています。また、卒業アルバムの制作も行っています。

業者にこの意見を伝えているところですが、今のところ販売形式を変えることができないとのことです。ご理解のほどよろしく申し上げます。

◎集団登校にしてほしい。学校から比較的離れているので行き帰りが心配である。

→集団登校実施の場合は以下のことが必要となります。

①地区班の編成 ②集合場所の確保 ③登校時及び集合場所での保護者の児童の見守り ④地区班編成に伴う保護者の皆様の組織の立ち上げ などの整備を保護者の皆様にしていただく必要があります。多くの保護者の皆様のご理解とご協力をいただく必要があります。要望が多数ございましたら検討の方向で考えていきます。

◎「ねりっこクラブ」を早く導入してほしい。

→練馬区では「練馬型放課後児童対策事業」として、ねりっこクラブ事業が平成28年度から今年度までに13校実施されています。この事業については、今後、10年間で全校実施に向けて取り組んでいるところです。

ねりっこクラブ開設に当たっては、学童クラブを学校に併設する必要があります。しかしながら、本校は、児童数の増加に伴い、提供できる場所がない状況です。本校の予定は、平成31年1月現在まだ決まっていません。情報が入りましたら随時、お知らせいたします。

◎運動に親しむ機会を増やし体力の向上をめざしてほしい。

→昨年度から、体育科の授業を中心に研究を進めています。研究主題を「どの子ども運動する楽しさや喜びを味わえる体育学習」とし、授業研究を中心に取り組んでいます。教員は、授業の計画を立てる前には、実技研修をしたり一時間の授業の流れを児童の実態に合わせて考えたりして授業改善に努めています。その研究の成果を平成31年11月29日に発表します。

また、運動の日常化を図るために「この指とまれ」と題した体育的活動の時間を設けたり「短縄」「持久走」「長縄」についてチャレンジ月間を設定したりしています。

今後も食育やオリンピック・パラリンピック教育も推進しながら、どの子ども「運動って楽しいもんだ」「仲間と協力して行っている」と味わえるように研究を深めていきます。学校だけでは限界がありますのでご家庭や地域と連携して進めていきます。ご協力をお願いします。

◎学校公開は子供たちの普通の姿を見せてほしいです。

学校公開は2か月に1回でよい。、回数を減らしてほしい。

→第2土曜日の学校公開は、多くの保護者の皆様に来校していただき、お子様の活躍する場を参観していただいています。教員は、子供たちの活躍の場を見ていただきたいとの思いで様々な計画を立案しております。また、学校でも、年間計画の中で保護者の皆様に理解していただきたい食育や安全教育、道徳教育などの場を意図的に設定しております。しかし、ご意見にあります「普段の姿を見せてほしい」を受けて、来年度は、精選して情報モラル講習会と防災教室は第2土曜日に設定しません。

また、学校公開の日数については、「第2土曜日は、学校公開とする」と練馬区教育委員会が各校に指導しているところです。そのため、6月から2月の第2土曜日は学校公開を行います。しかしながら今年度実施しましたように学期末の第2土曜日の公開時間を減らしたり普段の授業を参観していただいたりするよう少しでもご期待に添えるように努めます。

◎家庭学習チャレンジ週間の取組は時間が長くなりだらだらやっている。

→家庭学習チャレンジ週間は、家庭学習の定着・自ら学ぶ姿勢を身に付けることをねらいとして、年3回実施しています。年度当初に1年間の学習内容や単元ごとの配列などを記載した「シラバス」を配付していますので、参考にさせていただきますと幸いです。また、1. 2階昇降口前に設置しました「学びのステーション」には、学年別に国語や算数の問題プリントを印刷して用意しております。自由に取り出すことができますのでご活用ください。

VI 来年度に向けて

学校評価の結果や学校で課題として捉えていることなどから、次の6点について検討し教育課程の編成に生かしてまいります。年度末の保護者会時には、資料をもとに新年度の教育活動について各担任よりご説明いたします。

(1) 新学習指導要領移行期間の教育課程

今年度と来年度は新学習指導要領の移行期間となります。学習内容も移行期間に伴って今年度と変わるところがあります。また、外国語活動も今年度同様3. 4年生で15時間、5. 6年生で50時間実施いたします。

(2) 体力向上を目指す取組の充実

来年度も引き続き教育目標の重点目標を「つよいからだをつくる」とし、体育科の授業改善や運動習慣の定着、学校と家庭が連携した体力向上の取組を実施します。

(3) 学力向上の取組の充実

学習規律の定着を図るとともに、「分かる喜び、できる喜び、表現する喜びがある授業」を目指します。

(4) 豊かな人間関係の構築

子供一人一人に居場所がある学級(ひとりぼっちがいない学級)を目指します。そのために教職員が子供をよく見て、話を聞くことを第1とします。そして、「練三小の児童のために」を合い言葉に連携を図り教育活動を推進します。

(5) 練馬区学校・地域連携事業における人材の活用

学校が必要とする教育支援活動を、地域の多様な人材の協力を得て展開していきます。そして、地域と連携・協働して子供の学びや成長を支えていきます。

(6) 教職員の働き方改革の推進

教育の質の向上を高めるには教職員の多忙化対策や負担軽減に向けた取組が必要になります。業務のスリム化や行事の精選や廃止を含めた取組に努めてまいります。